

学び舎通信

文化発表会の歌声を胸に

11月9日（木）、文化発表会が開かれました。午前の部のクラス合唱は、どうでしたか？ トップバターのA組から期待を上回る出来でした。緊張するかもしれないと思っていたのですが、男女とも大きな声で、ステキなハーモニーを会場に響かせてくれました。他のクラスもA組に続いて自分たちの合唱を披露できたと思います。リハーサルよりもパワーアップした歌声を聴くことができました。素晴らしい合唱に立ち会えました。

2年生・3年生と学年が上がると、さらに大きな歌声で、深さ・広がりを感じさせてくれました。来年は、2年生としてこの舞台に立ちます。成長した姿で、自分たちの歌声を響かせてくれると信じています。



夢と絆の講演会に学ぼう

浅田真央さんが26歳、村上佳菜子さんが23歳、荒川静香さんが25歳。

これは日本を代表する女子フィギュアスケート選手が引退したときの年齢です。25歳前後が女子フィギュアスケート選手の平均引退年齢だそうです。しかし、今回ご講演いただいた鈴木明子さんは、24歳で初オリンピック出場、28歳の時には2度目のオリンピック出場を果たしました。全日本選手権では、13回目の出場で初優勝。逆転でつかんだ28歳での初制覇は、彼女自身が強い思いで勝ち取った勝利でした。

遅咲きではありますが、大輪の花を咲かせたフィギュアスケート選手だと思います。

鈴木さんは思っていたよりも小柄ですが、背筋を伸ばして椅子におかけになる姿がまず印象に残りました。鈴木さんのお話から、みなさんは何を感じ取ったのでしょうか。私はあきらめないことの大切さを改めて教えていただいたような気がします。

私には高校卒業後に民間企業で働いた経験があります。望んだ形での就職ではなかったので、こんなはずではなかったと思いながら、毎日を過ごしていました。もし、そのままぼやき続けてその仕事を続けていたら、教師になるという夢を叶えることなく、みなさんの前にも立つことはありませんでした。「このままでは終わってはいけない」「人生に悔いが残る」と思い、遅まきながら大学進学をしたからこそ、現在の自分があります。

人生はマラソンに例えられます。ただ、誰かと競うばかりでなく、目の前に現れる壁やハードルも現れることでしょう。その壁やハードルと向き合い、乗り越えていくことができれば、その先にはきっと違った未来が広がることでしょう。

もっと歳を重ねて過去を振り返ったとき、「あのとき、よく頑張ったよね」と笑える人生にしたいですね。

（文責：水野千広）

♣みなさんの感想♣

今回鈴木明子さんのお話を聞いて、「あきらめないことの大切さ」を知りました。私はとてもあきらめが早いのですが、明子さんは病気になり、挫折しかけたときも決してあきらめず、いつでも変えられる「未来」を見て、頑張ったとお話されました。その言葉がとても胸に刺さりました。「後ろを振り返らず前を向くこと」の大切さも知りました。なかなか聞くことのできない素晴らしいお話を聞かせていただき、ありがとうございました。 A組 K. A

自分はいつも卓球の試合で緊張して負けることが何回かあった。それで自分は、緊張するダメな人間だと思っていた。でも、この講演を聞いて、オリンピックに出る選手でも緊張して失敗することがあると思って少し安心した。それに緊張しても、「上手にやりたい！」と思えば上手いくというお話に、とても安心した。とてもいい講演だった。 C組 M. H

摂食障害というものを細かいところまで知りませんでした。自分もスポーツ中心の一人暮らしをし始めたら、体重を気にして摂食障害になり得るかもしれません。そのことで人生を変えてしまわないようにしたいです。
目標や夢を持ってその先を見据え、今後の進路に向けて努力を怠らないように頑張りたいです。 E組 H. S

鈴木さんの言葉で一番心に残ったことは、「過去には誰も戻れないけど、未来はいくらでも変えられる」という言葉です。自分も過去に戻ってやり直したいなと思うことはたくさんあって、失敗したことでもうやりたくない心が折れてしまうことがほとんどでした。でも、これからは失敗したことを基にして未来に向かっていきたいなと思いました。 G組 H. H

自分の懇談会の日時を覚えていますか？

自分の懇談会の日時を把握していますか。時間に遅れて迷惑をかけないように、気をつけたいです。順番待ちをするみなさんも、静かに待つようにしてくださいね。

私は人一倍ネガティブだから、「誰も過去には戻れない。だから、未来のことを考える」というところがとても印象に残りました。

「過去のことを後悔したって前に進めない」とおっしゃった鈴木さんは、ずっと前を向いて生きてきたのだと思います。今日聞いたことを部活動などに生かしたいです。

B組 M. M

自分はいつも目標を立てて、その目標を達成したら満足してしまっていた。だけど、今日の講演を聞いて、その目標が達成した後のことを考えなければならないという言葉聞き、今後は目標を達成したその後のことを考えていきたいと思った。 D組 E. T

鈴木明子さんのお話を聞いて、「口に出す勇気」が自分にはないなと思いました。部活動でも勉強でも、「やれたらいいな」と思うだけで、口に出したことがなく、緊張して失敗したら…というネガティブな考えしか浮かびませんでした。でも、明子さんのお話を聞いて、自分が緊張しているとき、周りが認めてくれていたことに気が付きました。周りに感謝することが大切だなと思いました。 F組 S. R

鈴木明子さんは、ジャンプが上手く跳べなくても、摂食障害にかかっても、「オリンピック」という夢のために頑張ることができたのはすごいなと思いました。まだ私は、「〇〇になりたい」というような明確な夢はもっていませんが、もしそんな夢を見つけられたら、一生懸命頑張っていきたいです。そして、もしあまり上手いかななくても、「ひとつひとつ。少しずつ」という今日のお話を思い出したいです。

H組 H. M

僕にはまだこれといった将来の夢がありませんが、小さな目標が一つあります。それはテストで目標点を取ることです。どんな小さなことでも、一つ一つ達成していけば、いつか大きなものとなると思って必死に勉強してきました。しかし、小さな目標を達成したその先のことはまったく考えていなかったもので、これからはその先のことを考えて、その先へ先へと目標をつくっていきたいです。 I組 I. K